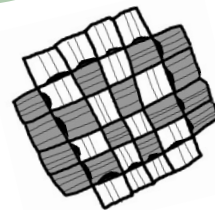


じょうもん

縄文コースターを作ろう

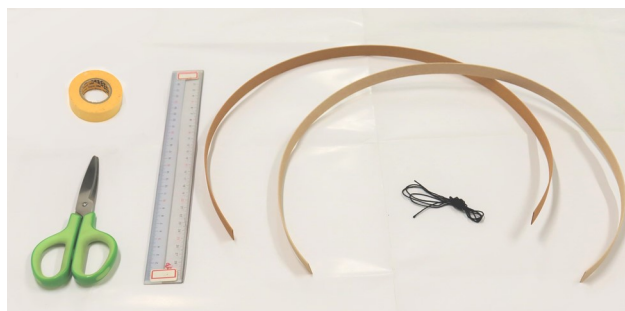


今から12,000~2,200年前の縄文時代の人びとは、木の実や貝をとったり、狩りや釣りをして生活しながら、縄文土器や、植物を編んだカゴや布など、暮らして使う道具を手作りしていました。

縄文時代の編みかたの一つ、あじろ編みを体験しながら、コースターを作ってみましょう！

材 料

- 1.5cm幅の手芸用クラフトテープ
…2色用意して、それぞれ約75cm
1色で作る場合は、1m50cm用意
- お好みの糸やひも（手ぬい糸など）…約1m
- テープ
（マスキングテープや養生テープなど貼りがえられるもの）
- はさみ ● 定規



作りかた

テープを
準備します

- ① 2色のクラフトテープをそれぞれはさみで切って、15cmのものを5本ずつ用意する。
- ② 15cmに切ったクラフトテープをたてに5本並べる。ずれないようにマスキングテープなどで奥側を固定する。

1

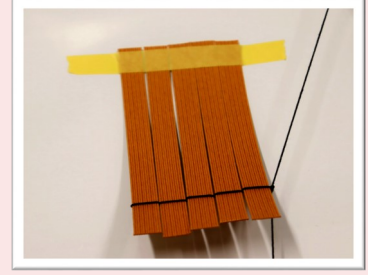
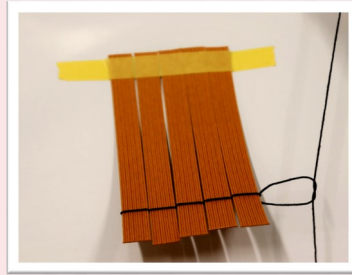
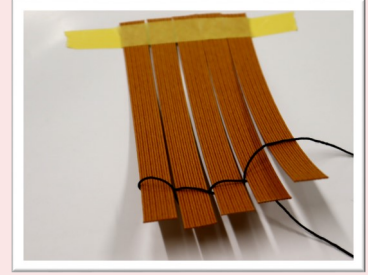
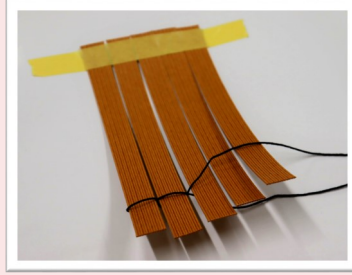
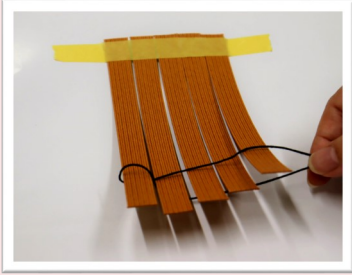


2



3

手前から2cmのところ、二つ折りにした糸をクラフトテープに交互にくぐらせ、はしまで来たら2回結んで、固結びを作る。

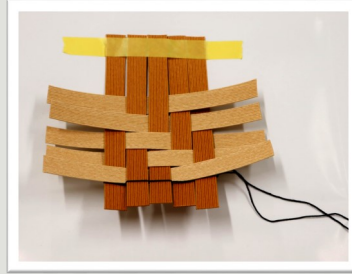
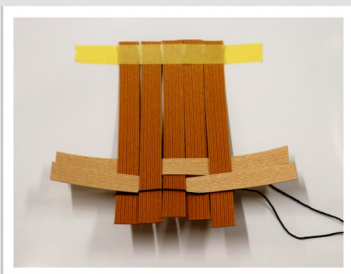


コースターを
編んでいきます

4

固結びにしたところから、横のクラフトテープを2本おきにくぐらせる。

2本目より後は、たてのクラフトテープを1本ずつずらして、模様が階段状になるように編む。5本すべて編みこむ。



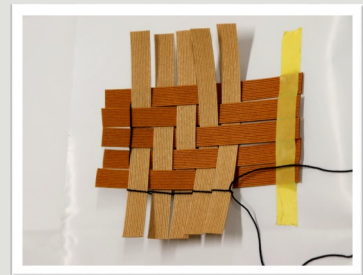
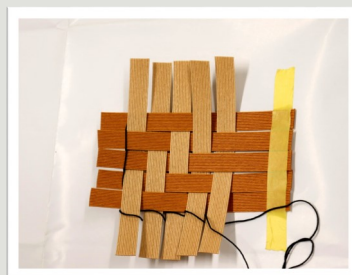
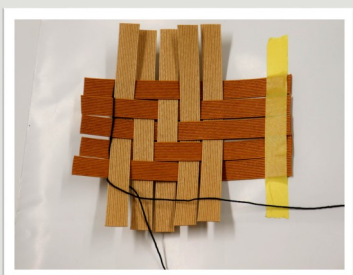
このとき、模様がきれいに整っていないなくてもOK。このあと、糸をくぐらせていくと、だんだん整ってくる。

5

③と同じように、クラフトテープがずれないように周りに糸を交互にくぐらせる。

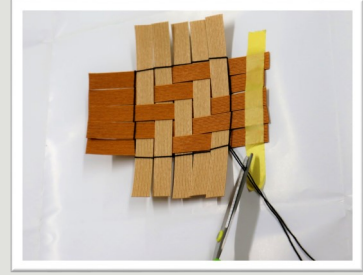
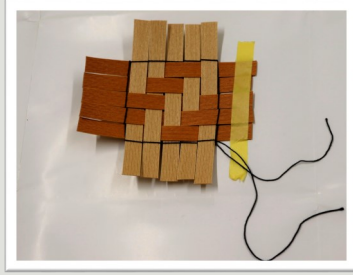
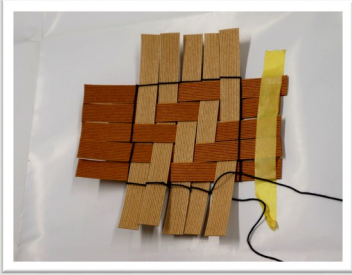
そのとき、糸をくぐらせる部分が手前にくるように向きを変えるとやりやすい。

1つの辺のはしまで来たら2回結ぶ。これを1周くり返す。



6

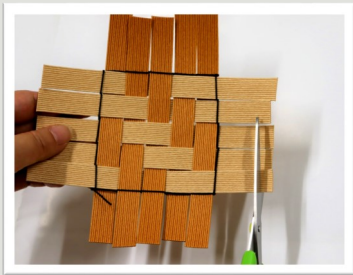
1周したところで、最初の二つ折りにした糸をまきこんで、2回結んではしを切る。



7

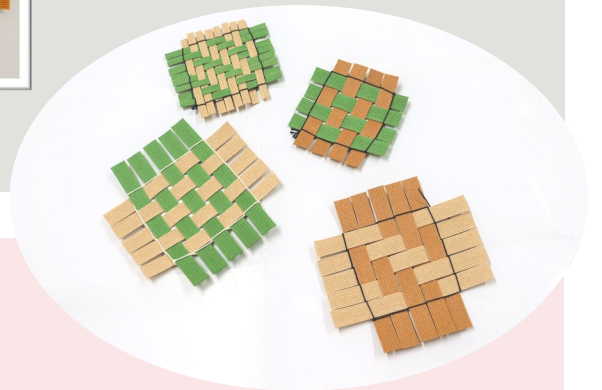
全体のゆがみを整える。

クラフトテープが糸をくぐらせたところからはみ出しているので、はしを3cmほど残して切り、長さを整える。



完成！

アレンジも楽しんでね



縄文時代の編みものQ&A

Q1

どうして編み目の模様がわかるの？

A

縄文人が土器をつくる時に、編んだものを敷いて使うことがありました。

この時、編み目が土器の底に押しつけられて模様が残ったのです。

調布市内の遺跡からも、編み目が残った土器が見つかっています。

Q2

あじろ編み以外の編みかたは？

A

もじり編みという編みかたがありました。

糸状にした植物の繊維せんいを使って、タテ糸をヨコ糸にからませて、布や衣服・袋を作りました。この布を「編布」といいます。

現在でも、簾すだれやムシロを作る時に使われている編みかたです。